

令和5年度 中高生勉強会「学びiプレイス」実施報告

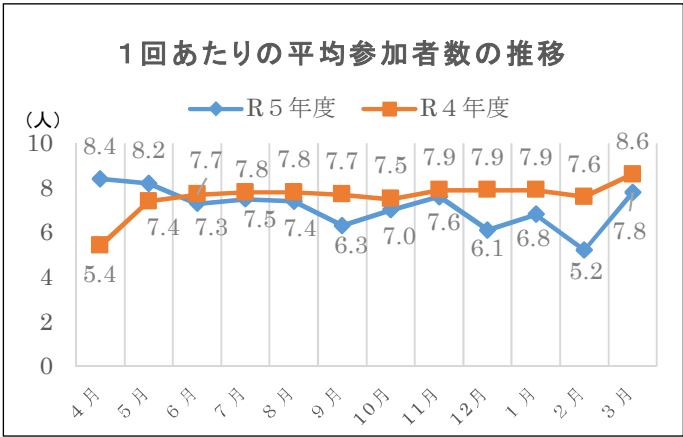
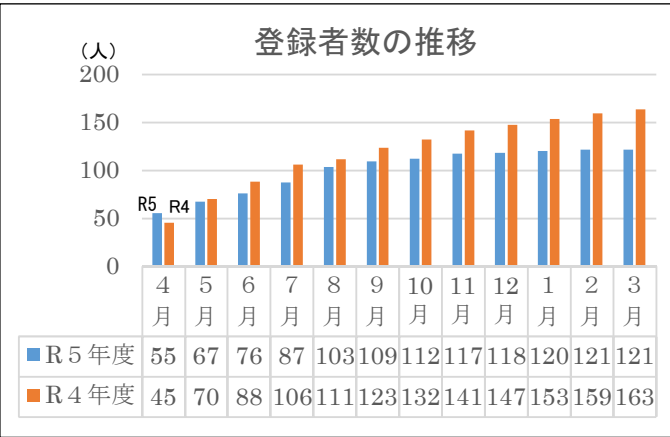
中学生及び高校生（相当年齢の者を含む）を対象として、大学生等のボランティアによる学習支援と相互交流をとおして、学習機会の提供と社会性や自己肯定感を育む場となる中高生の居場所づくりを目的に中高生勉強会「学びiプレイス」を実施したので、その結果について報告する。

1 実施期間

令和5年4月11日から令和6年3月8日まで。

2 日時・会場・実施回数・参加状況

会 場	曜日	時 間	回数	登録者数	延参加者数	前年度 延参加者数
まなぼーと大原	火	18：00～20：00	40回	25人	343人	377人
高島平図書館	水	17：00～19：00	40回	27人	252人	396人
教育支援センター		18：00～20：00	40回	20人	274人	271人
中央図書館	木	17：00～19：00	40回	36人	330人	237人
まなぼーと成増	金	18：00～20：00	40回	13人	200人	237人
計			200回	121人	1,399人	1,518人



3 学年別参加状況（各会場における学年別延参加者数）

会 場	中 学 生 (68.7%)			高 校 生 (31.3%)				計
	7年 (19.0%)	8年 (29.0%)	9年 (20.7%)	1年 (12.1%)	2年 (7.8%)	3年 (11.4%)	相当者 (0%)	
まなぼーと大原	17 人	214 人	12 人	54 人	11 人	35 人	0 人	343 人
高島平図書館	94 人	26 人	106 人	11 人	11 人	4 人	0 人	252 人
教育支援センター	61 人	62 人	39 人	35 人	29 人	48 人	0 人	274 人
中央図書館	94 人	76 人	31 人	66 人	34 人	29 人	0 人	330 人
まなぼーと成増	0 人	28 人	101 人	4 人	24 人	43 人	0 人	200 人
学年別計	266 人	406 人	289 人	170 人	109 人	159 人	0 人	1, 399 人
中高別計	961 人			438 人				

4 委託事業者

特定非営利活動法人 キッズドア

5 委託料

11,307,780円

6 実施状況及び内容

令和5年度は、当初の計画どおり5会場で各40回（計200回）開催した。

各実施会場では、継続的な事業実施により、中学生・高校生に学習機会と居場所の提供を行い、それに加えてキャリア支援の強化に努めた。

令和5年度の参加状況は、登録者数、延参加者数ともに令和4年度より減少し、登録者数は、令和4年度163人、令和5年度121人（令和4年度比74.2%）、延参加者数は、令和4年度1,518人、令和5年度1,399人（令和4年度比92.2%）であった。

全体の参加者のうち、中学生が約7割、高校生が約3割となり、令和4年度との比較では、中学生の参加割合が1割程度高くなった。

（1）学習支援

参加者が持参する教材を使い、個々の状況に応じて学習をサポートする寄り添い型の支援を行った。普段は、学校の宿題・課題に取り組む生徒が多く、定期試験の前には、試験に向けた学習に集中する様子が多くみられた。

令和4年度の参加者アンケートでの要望に応じ、事業内でのWi-Fi環境を整備し、オンラインの教材や学校からの課題にも取り組めるようになった。

また、9年生、高校3年生に対しては、個々の希望に応じて、受験対策に集中的に取り組んだ。その一部は、以下の事例1、2のとおり。

①事例1；都立高校入試対策（9年生）

都立高校への進学を希望の9年生を対象に、当人の状況に合わせて、支援者が教材やテスト問題を作成し、きめ細かな支援を行った。

プログラミングを学ぶ大学院生が簡単な操作で自動生成される計算プリントを作成し、繰り返し異なる問題に触れたり、支援者が毎回作成する英単語テストを行ったりすることをおして、学力の定着や強化に取り組んだ。

学習支援を続ける中で、外部の模擬試験での成績も徐々に上がり、当人の学習意欲も向上していき、入試では、第一志望の都立高校に合格した。



②事例2；大学入試対策（高校3年生）

大学で看護の勉強をしたいという希望をもつ高校3年生に対し、受験科目で必要な「生物」につき、大学院で遺伝子等を研究している支援者が集中講義を行うなど、受験対策に取り組んだ。

当該参加者は、受験期間中にも本事業に参加し、学習支援に加え、各会場で支援者たちからの励ましを受け、Ⅲ期試験まで頑張り、大学の看護学科に合格した。

(2) 居場所の提供

本事業では、中高生と年齢の近い大学生等のボランティアや事業者スタッフが支援者となり、参加者にとっては、話しやすい雰囲気や関係性が醸成され、ボランティアやスタッフとの会話を楽しみに継続参加する様子もみられた。

信頼関係が築かれる中、学習面では、勉強の仕方や、進路に関しての相談を受けることが多く、支援者が話を聴いたうえで、一緒に考えながら、提案や情報提供を行うなどの対応に努めた。

参加者の中には、学校生活や家庭環境に起因して、困りごとやストレスを抱えている中高生もあり、こうした参加者の話も聴き取り、直接的な対応が難しい場合にも、いつでも話ができる場として、参加者に寄り添うよう支援に努めた。

また、参加者と支援者、参加者同士の交流をとおして、心地よい居場所となるよう、交流機会として適時イベントを実施した。イベントの様子は事例1、2のとおり。

①事例1；ボードゲームイベントの実施

交流のツールとして、だれもが参加しやすいボードゲームを活用したイベントを実施した。

新規参加者やボランティアが早く馴染めるよう5月に各会場で実施したほか、12月や3月の最終回にも実施した。日頃話す機会が少ない参加者同士でも自然なかたちで会話が増え、交流の機会となった。



②事例2；ものづくりイベントの実施

参加者からの希望を受け、まなぼーと大原会場では「ペーパークラフト」、まなぼーと成増会場では「紙コップスピーカー」を作るイベントを実施した。

ペーパークラフトは、船を作成する素材を使い、参加者が役割分担しながらパーツの切り出しから組み立てを行い、作品を完成させた。

紙コップスピーカーは、どうすれば音が大きくなるかという支援者の問いかけから、参加者同士で考え、音が出るよう工夫しながら作成した。

ものを作る作業をつうじて、互いに意見を出し合い、協力して1つのものを完成させ、達成感を共有する機会となった。



ペーパークラフト
作成の様子



紙コップスピーカー
作成の様子

(3) キャリア支援

令和5年度は、キャリア支援に力を入れ、参加者が自身の将来のことや進路を考えるきっかけとなる取り組みを積極的に行った。

各実施会場では、隔月で「まなプレインタビュー」を発行・配布した。身近なロールモデルである支援者の進路選択の経験や中高生時代の勉強への取り組み、大学で専門としている（していた）分野や現在の仕事のことなどについて、インタビュー形式の文面で読みやすく作成し、今後の進路を考える一助とした。

また、「ポスタープレゼンキャリアイベント」を実施し、「まなプレインタビュー」と同様に支援者の経験などをポスター形式で作成して、会場内に掲示することで、その内容をきっかけに、参加者が気軽に質問するなど、交流しながら支援者の経験談などを聴く様子がみられた。

これに加え、区内大学や区外の企業の協力を得て、見学や体験をととして学ぶキャリアイベントを実施した。その様子は、事例1、2のとおり。

①事例1；大東文化大学見学ツアー（8月）

夏休みに大東文化大学を訪問した。職員から大学の歴史や特徴などの説明を伺った後に、同大学の学生によるキャンパストークをととして大学でどのような講義があるのかなどを知る機会となった。

その後、キャンパスツアーでは、学生の案内により、図書館や大学特有の施設などを見学した。

最後に、学食で昼食を取りながら、日頃は違う会場に参加している生徒や会話の機会がなかった生徒同士も打ち解けて話が盛り上がっていた。

ツアーの参加者からは、「大学に対してのイメージが具体的になった」「大学生になった自分を想像することができた」などの発言が聞かれた。



学生によるキャンパスツアー



学食での昼食の様子

②事例2；アクセンチュアオフィスツアー（12月）

令和4年度に続き、本事業の委託事業者をつうじて、アクセンチュア株式会社（総合コンサルティング企業）に招かれ、「アクセンチュアオフィスツアー」を実施した。

当日は、社員の方と昼食を取り、会社説明、オフィスの見学の後、キャリアワークショップが行われた。今回は会社側からの提案により、昼食の時点から、社員の方が参加者にマンツーマンで対応してくださり、キャリアワークショップでは、社員から、これまでのキャリアについてプレゼンテーションを受け、その後、参加者からの質問や相談を受けていただいた。

ワークショップ後には、「マンツーマンだったから真面目な話もしやすかった」「初対面だからこそ話せることがあって、心が軽くなった」という声があった。また、自身のめざしたい将来について話をする参加者もいるなど、それぞれにとって、貴重な機会となった。



会社説明の様子



キャリアワークショップの様子

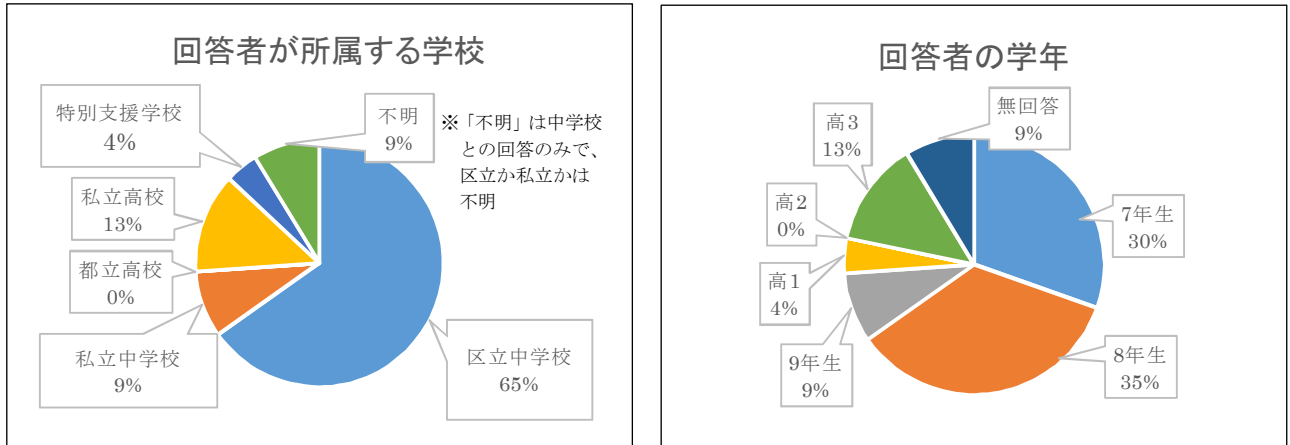
7 参加者に対するアンケート結果

(1) 実施期間・実施方法

令和6年2月から3月の事業実施中に、各会場で参加者アンケートを実施した。

(2) 回答者について

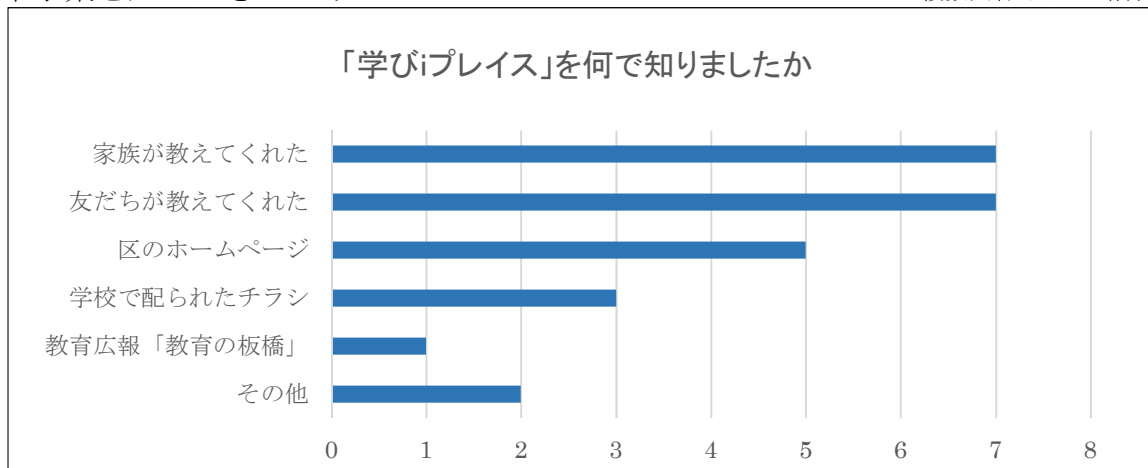
回答者数23人



(3) 回答結果

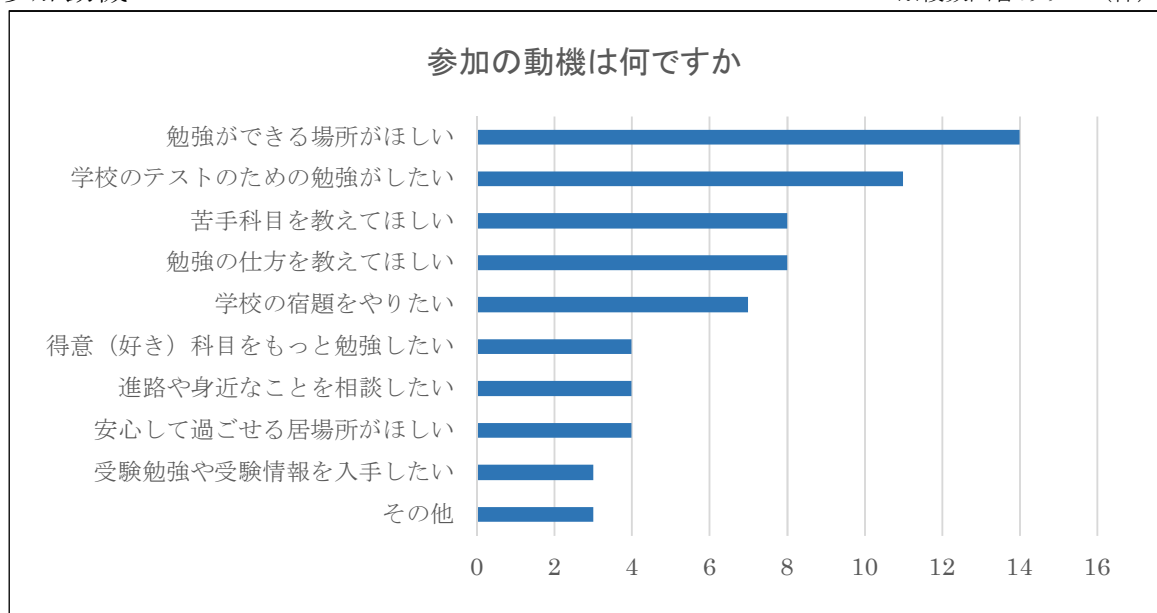
①本事業を知ったきっかけ

※複数回答あり (件)

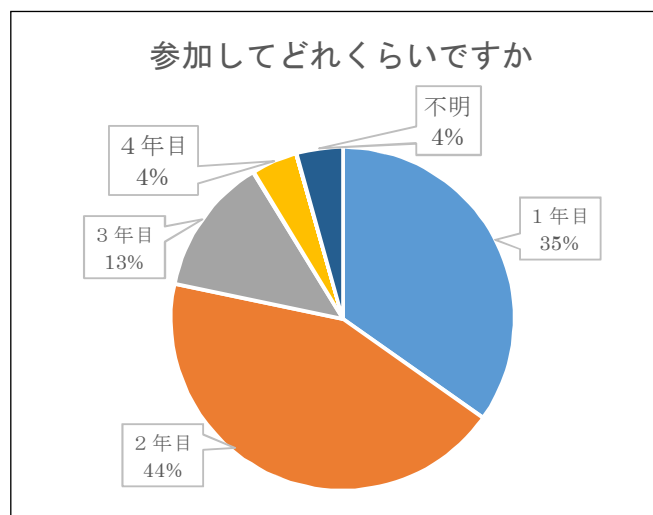


②参加動機

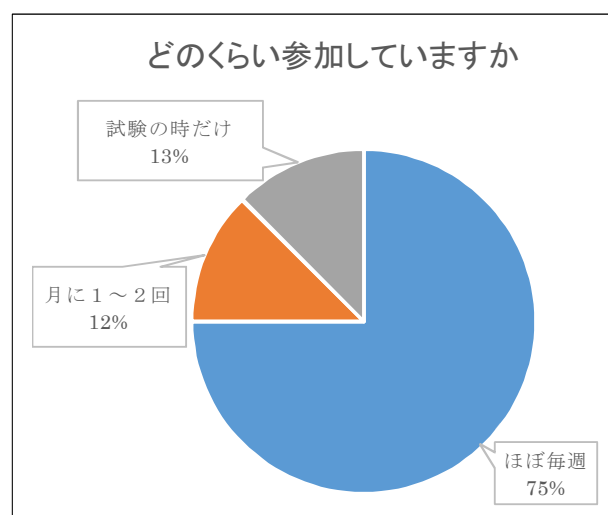
※複数回答あり (件)



③本事業への参加歴

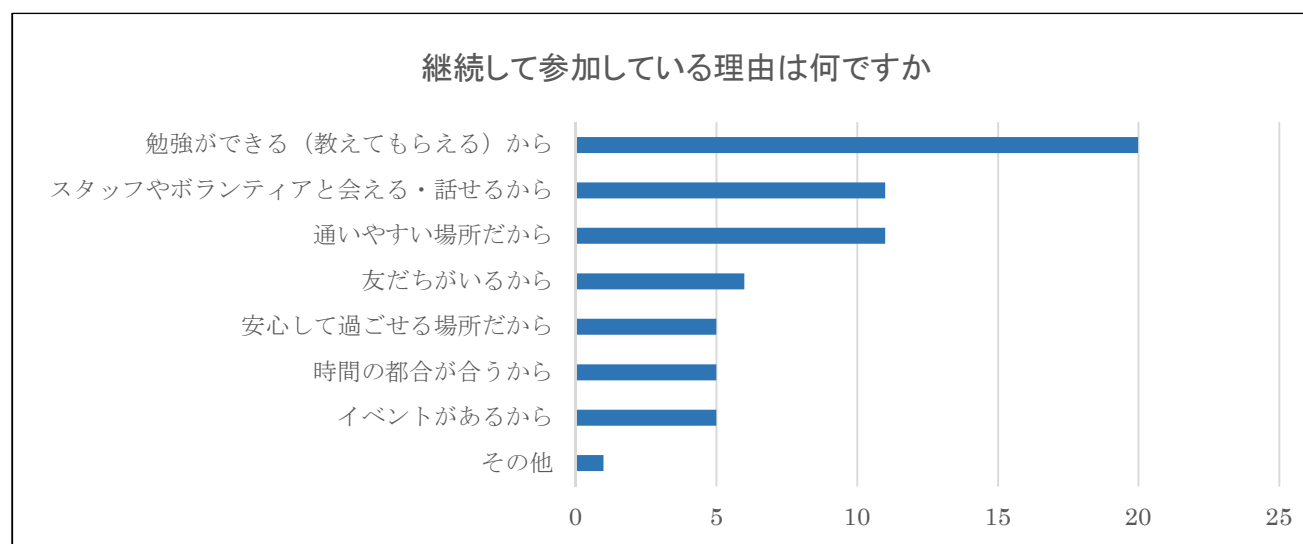


④参加の頻度

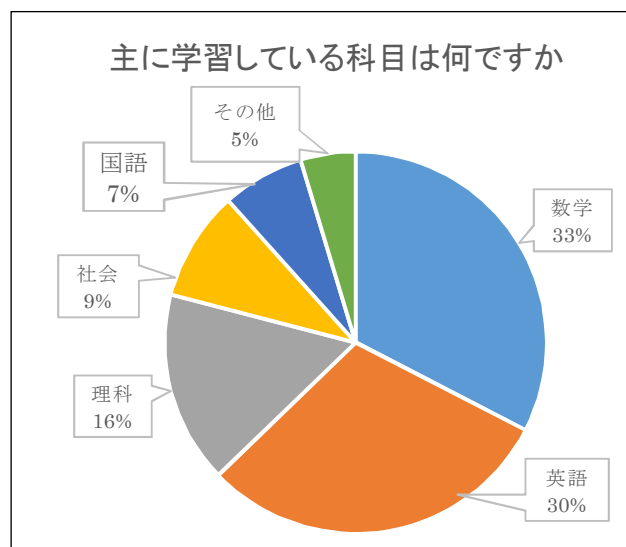


⑤継続参加の理由

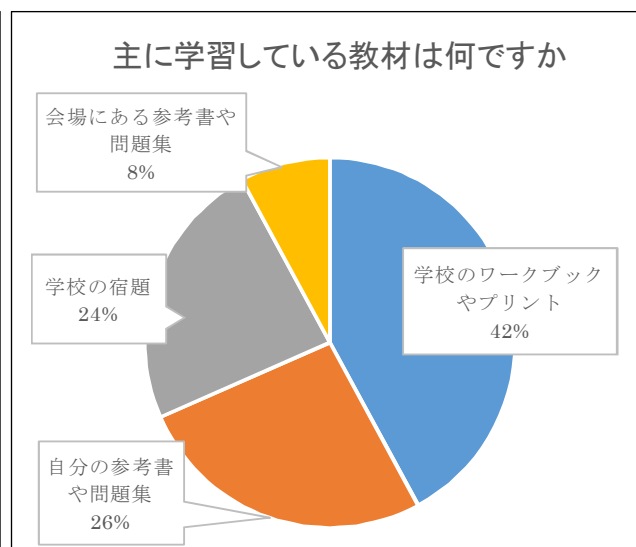
※複数回答あり (件)



⑥主に学習している科目

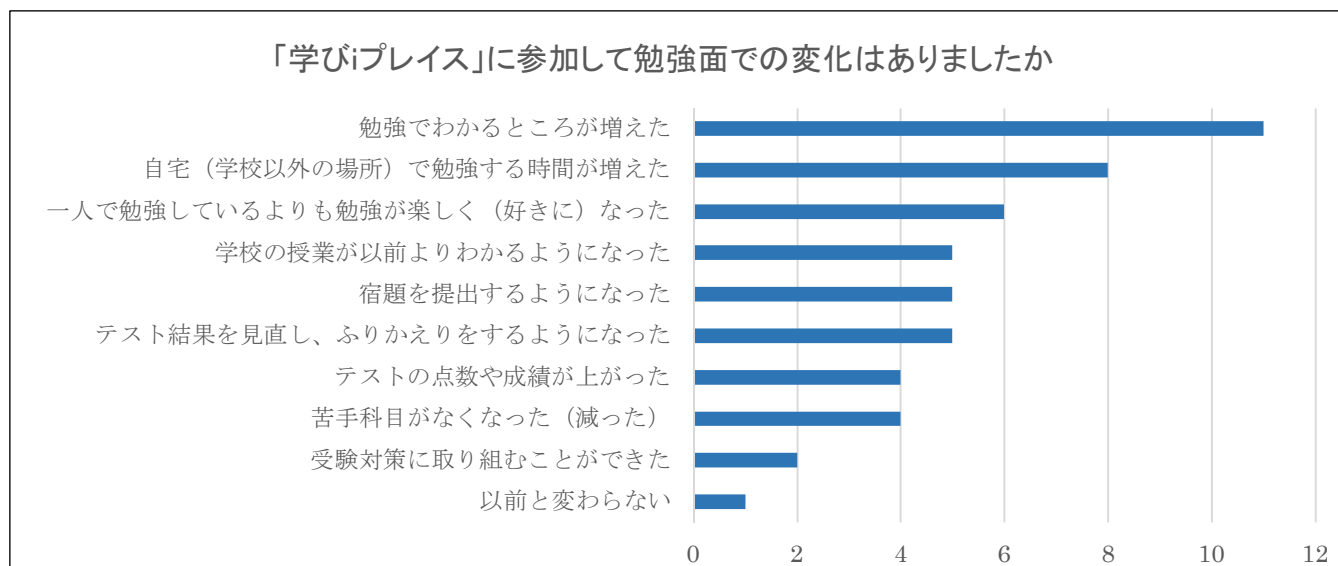


⑦主に学習している教材



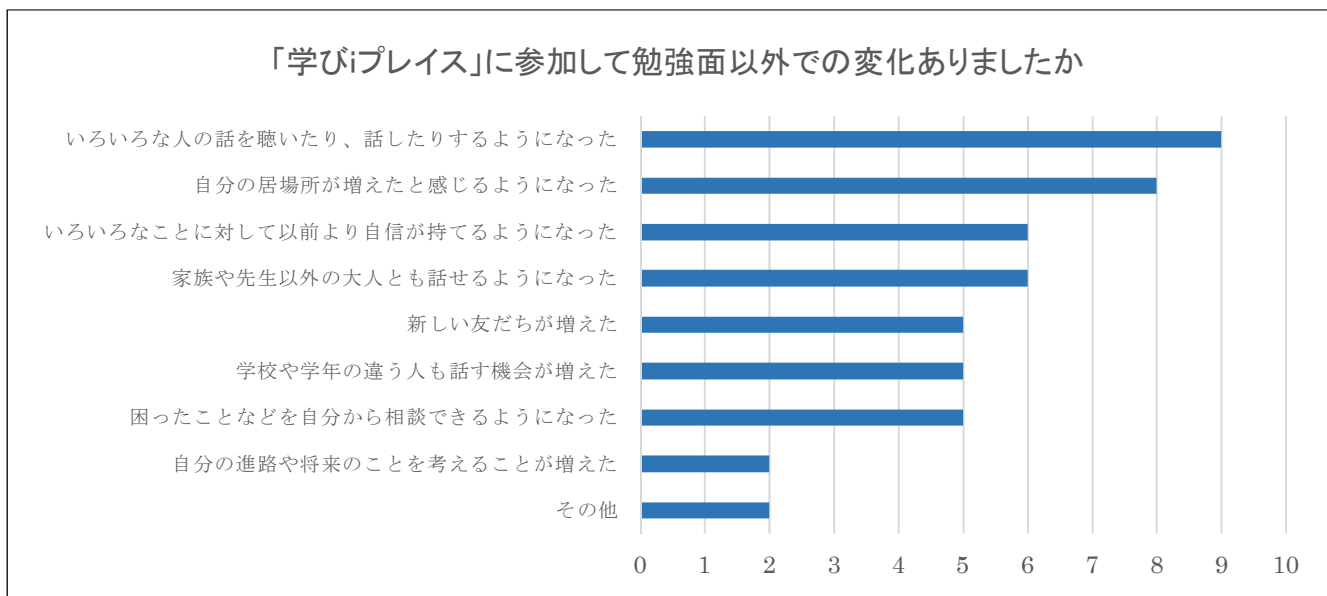
⑧勉強面での変化

※複数回答あり (件)



⑨勉強面以外での変化

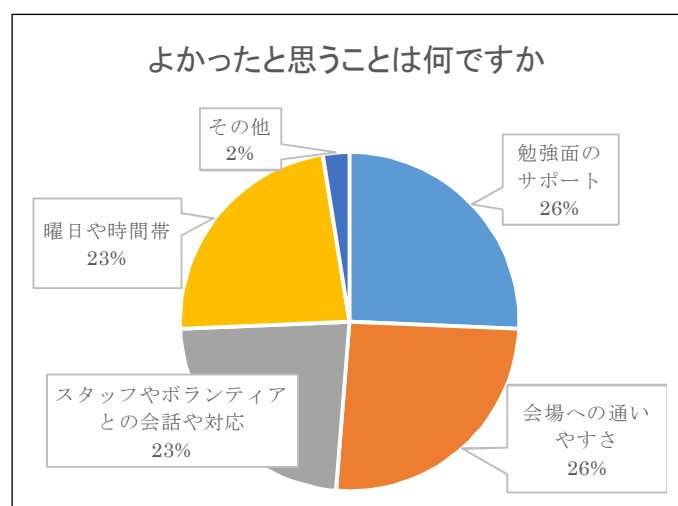
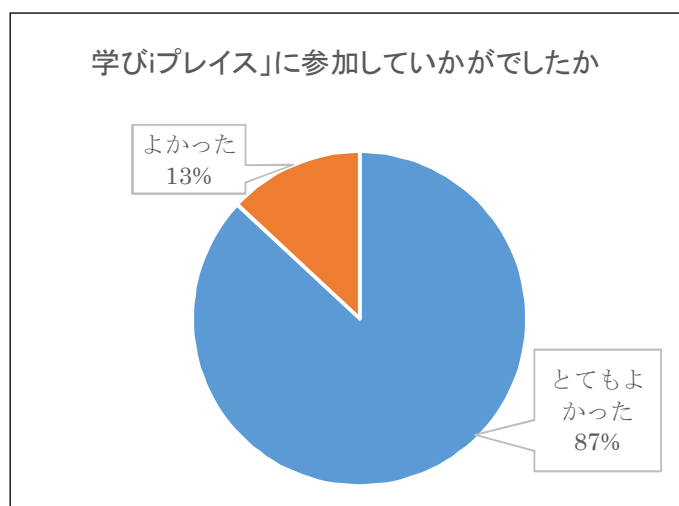
※複数回答あり (件)



⑩本事業への評価

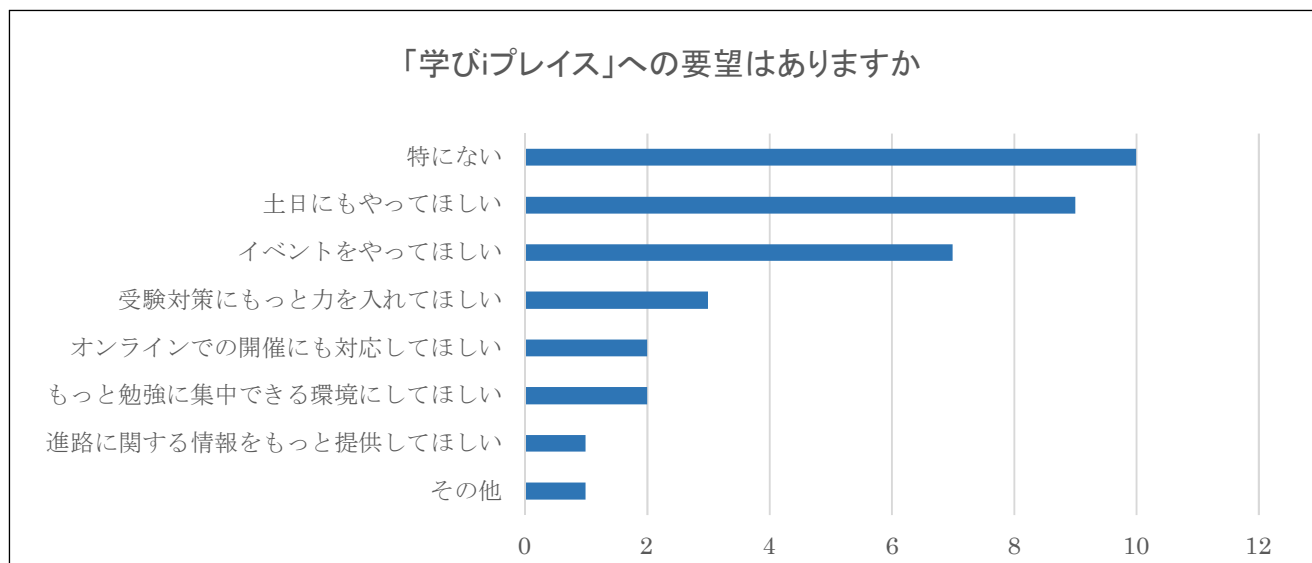
⑪評価の理由

※複数回答あり



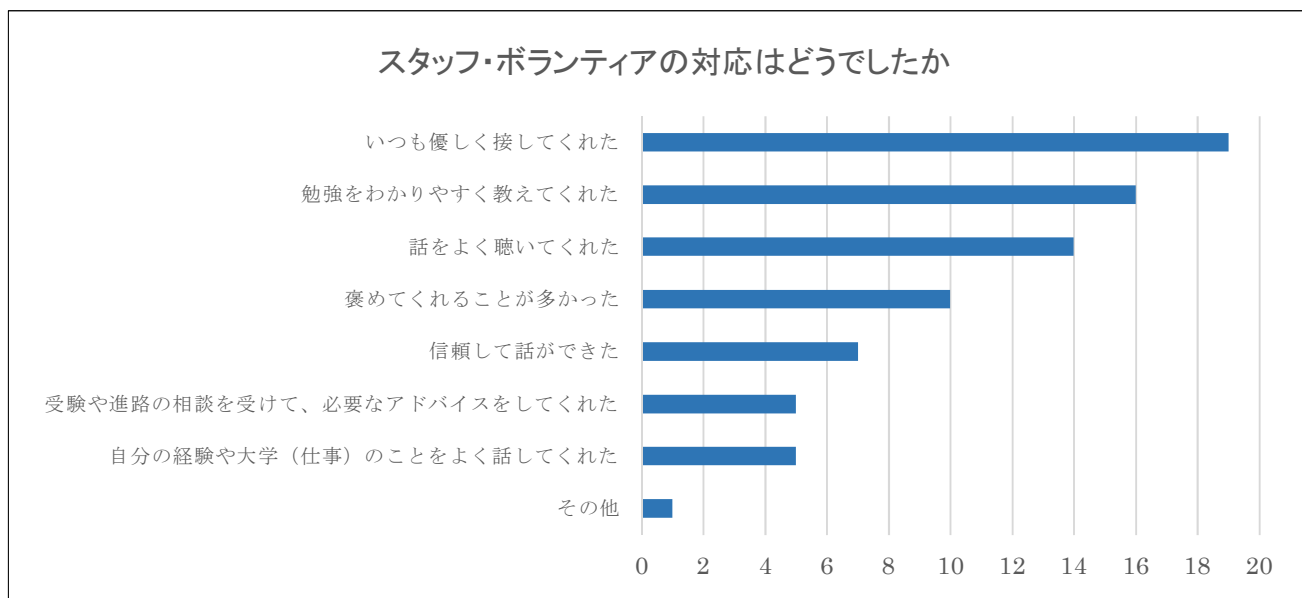
⑫事業に対する要望

※複数回答あり (件)



⑬支援者（スタッフ・ボランティア）について

※複数回答あり (件)



⑭自由意見（一部抜粋）

【スタッフ・ボランティアへのメッセージ】

- いつもありがとうございます。（7年生）
- いつもわかりやすく勉強を教えていただきありがとうございます。おかげで勉強もついていけています。イベントで自分の進路について考えることができました。よく助けられています。（7年生）
- スタッフが優しくてなじみやすかったです。苦手な問題をわかりやすく教えてくれたのでテストでとても役に立ちました。（7年生）
- 優しく話を聞いてくれるから話していて楽しい。（7年生）
- ずっと優しく接してくれたり、わかりやすく教えてくれたりして助けられています。（7年生）
- いつも優しく接してくれてありがとうございます。（7年生）

○勉強を教えてくれてありがとうございます。わからないことがわかったりして役立っています。(7年生)

○いつも楽しく話したり、勉強を教えてくれてありがとうございます。(8年生)

○苦手な分野も優しく丁寧に教えていただいているので、かなり克服できました。得意な分野はさらにのばすことができてうれしいです。これからもよろしくお願いします。

(8年生)

○勉強のサポートだけでなく、進路や将来のことなどを話す機会をつくってくださりありがとうございます。来年は受験生になって、より一層勉強を頑張るのでよろしくお願いします。(8年生)

○いつも楽しく勉強できて、息抜きにもなっているので、これからも通いたいです。

(8年生)

○いつも勉強を教えてくださりありがとうございます。とてもわかりやすく助かっています。(8年生)

○スタッフのおかげで勉強により一層取り組むことができます。学ぶことの楽しさを知ることができました。(8年生)

○いつも楽しく参加できました。(高3)

○毎週私にとって居心地の良い場所を作ってくださいありがとうございます。おかげで自信が付き、勉強が大好きになりました。(高3)

【事業に対する意見や感想】

○楽しいです。(7年生)

○まなプレはすごく良いところだと思います。悩んでいるのを見て、すぐに声をかけてくれてうれしかったです。集中して勉強できたり、勉強のことを相談できて助かっています。

(7年生)

○まなプレに来て勉強時間が増えました。(8年生)

○これからもイベントしてほしい。(8年生)

○ボードゲームまたやりたいです。(8年生)

○イベントが豪華で良い。(8年生)

○まなプレがなかったら、自分から勉強したり、将来について考えたりする機会があまりないままだったと思うので、まなプレが家の近くでやっていて本当に良かったです。

(8年生)

○企業や大学見学は楽しいし、自分のためになり、友だちとの思い出づくりにもなるので、また開催してほしいです。これからも毎週参加します。(8年生)

○これまで、大学見学やアクセンチュアなど貴重な体験をさせていただきありがとうございます。(8年生)

○本当に最高の場所でした。(高3)